



# 株主通信

2010年3月期 第3四半期  
業績のご報告

証券コード 6652



経済産業省から、  
製品安全対策優良  
企業特別賞に表彰  
されました。

## IDEC株式会社

和泉電気からIDEC(アイデック)へ

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
お問い合わせ先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
0120-094-777 (通話料無料)

返 送 先 〒540-8694  
大阪東支店私書箱第455号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

〒532-8550 大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号  
電話06-6398-2500 (代表)

<http://www.idec.com/japan/>

濡れている場合は乾燥させてからはがしてください

OPEN

# こんなところにIDEC

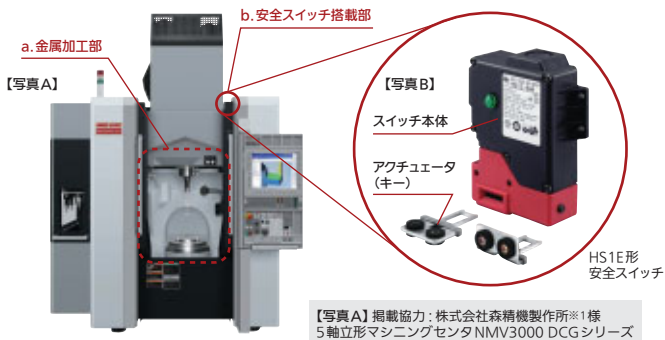
## — 作業者の安全を守る「安全スイッチ」編 —

汎用スイッチ	押ボタンスイッチ	セレクトスイッチ	鍵付セレクトスイッチ
			
特殊用途スイッチ	非常停止用押ボタンスイッチ	イネーブルスイッチ	安全スイッチ
			

IDECグループが提供しているスイッチ（代表例）

ひとことで産業用スイッチといっても、その形状や用途はさまざまです。今回ご紹介するのは、安全スイッチと呼ばれるスイッチですが、一見すると私たちがイメージするスイッチの形状とは大きく異なっています。さて、このスイッチは、どのような用途で使用され、どのように作業者の安全を守っているのでしょうか。

## 工作機械における作業者の安全確保対策とその要件



【写真A】は、マシニングセンタと呼ばれる代表的な工作機械です。工作機械とは、あらゆる製品で使用されている金属部品を製作するための特別な機械であり、今回ご紹介する【写真A】の機械は、小型化・複雑化が進むワーク（加工対象物）を効率よく、高い精度で加工することができるものです。

この【写真A】のa.金属加工部の内部では、工具が回転し、金属を加工する際の切削屑が飛び散る非常に危険な領域です。そこで、多くの工作機械では、その周囲に扉を取り付け、機械の危険部位を隔離することで、作業者の安全を確保しています。作業者が機械に近づくことがなければ、このような隔離方策をとることで作業者の安全は守られますが、実際には、段取り替え・修理・掃除などで扉を開け、加工部に接近しなければならないこともあります。また、機械の稼動中に誤って扉を開けよ

うとしてしまうこともあるかもしれません。

したがって、そのような状況になり得ることを前提にした場合でも、作業者の安全を確保するためには、さらに次のような要件を満たす必要があります。

#### 工作機械における安全を確保する要件<例>

- ①扉を開けると機械が必ず停止する、または機械が停止してからでないと扉を開けることができない。
- ②扉が開いている間、機械は運転を開始できない。

## 安全スイッチの果たす役割とIDEC安全技術ノウハウ

そこで活躍するのが【写真B】のような安全スイッチで、IDECはこのスイッチで、国内シェア27.6%※2を有しています。

安全スイッチは、スイッチ本体とアクチュエータ（キー）から構成されており、扉を完全に閉じた時に、アクチュエータがスイッチ本体に納まるように取り付けすることで、扉の開閉状況を検出することができます。今回の工作機械の場合、この安全スイッチが**b. 安全スイッチ搭載部**に設置されており、扉の開閉状況を検知することで、前述の要件を満たし、隔離された機械の危険部位への安全なアクセス手段を実現しているのです。

なお、安全スイッチが使用される場合、各種安全機器からの安全情報の入力信号があり、かつ安全に関する制御システムが正常である場合に限って機械を起動させる、「安全リレーモジュール」などととも安全システムを構築します。

IDECグループは、幅広い安全機器製品のラインナップと、機械安全に対する高度な知見を有した人材を擁しており、お客様の安全システムの構築をトータルにサポートしています。

※1：今回掲載にご協力いただいた株式会社森精機製作所様は、切削型工作機械の総合メーカーとして、最高の技術とサービスを絶えず追求し、工作機械の新しい価値、そして無限の可能性を世界中のお客様へ提供されています。

※2：2009年上期（4月～9月）のNECA（社）日本電気制御機器工業会）統計より自社算出しています。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
基準日	毎年3月31日 なお臨時に必要なときはその都度公告します。
公告の方法	電子公告により行います。 <a href="http://www.idec.com/japan/lr/Koukoku/">http://www.idec.com/japan/lr/Koukoku/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株主さまに関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



## 株主の皆さまへ

皆さまには、平素より  
格別のご高配を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

2010年3月期 第3四半期の  
業績概況について  
ご報告申し上げます。

## 2010年3月期 第3四半期連結業績(累計)のご報告

4月以降、売上高は緩やかな回復基調を維持していますが、未だ国内の設備投資需要は厳しい状況にあり、当第3四半期におけるグループの売上高は、157億9百万円（前期比31.7%減）となりました。しかしながら、四半期推移では、第1四半期の売上水準に対し、第2四半期が121%、第3四半期132%と、期を追うごとに回復しております。

一方利益面では、各種緊急対策により、前年同期比で約18%の固定費を削減しましたが、減収による利益額減少の影響が大きく、第3四半期累計では8億5千1百万円の営業損失となりました。なお、当第3四半期においては営業利益・経常利益・純利益のいずれにおいても黒字化を達成しています。

これらの業績結果および足元の受注高の回復傾向を受け、今期の売上高予想を220億円に、営業損失7億円、当期純損失3億5千万円へとそれぞれ上方修正しています。

IDECグループでは、ゆるぎない収益構造の確立を目指し、2011年3月期より新中期経営計画を推進していきます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

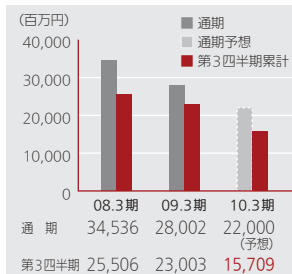
2010年2月

代表取締役会長兼社長

船木俊之

## 業績の概要 (第3四半期累計 4月～12月)

### 売上高



### 〈売上高〉

15,709百万円  
前年同期比 68.3%

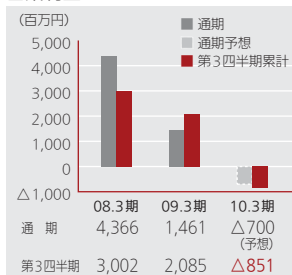
### ■ 地域別売上高概況

国内売上高は、第2四半期に引き続きLED照明および電源が伸長したものの、前期に比べて主力スイッチ、端子台等が減少した影響が大きく、99億2千6百万円（前期比33.4%減）となりました。また、海外売上高は、北米およびアジア地域でリレーやスイッチなどの主力製品が減少し、57億8千2百万円（前期比28.6%減）となりました。

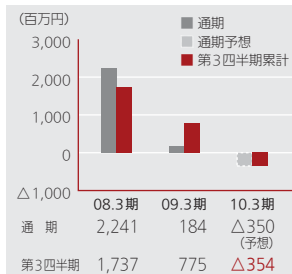
### ■ 通期業績予想の修正

依然として厳しい状況ではありますが、第3四半期においては、中国を中心とする海外市場に加え、段階的ではありますが、国内市場においても回復が見られ、足元の受注動向も増加基調で推移しています。これを受け、下記のとおり業績予想を修正しています。

### 営業利益



### 純利益



(百万円)

	今回発表 予想	前回発表 予想
売上高	22,000	21,000
営業損失	△700	△1,200
当期純損失	△350	△750

## TOPICS システムコントロールフェア2009 開催

### ～戦略製品デビュー!さらなるシェアの獲得を目指して～

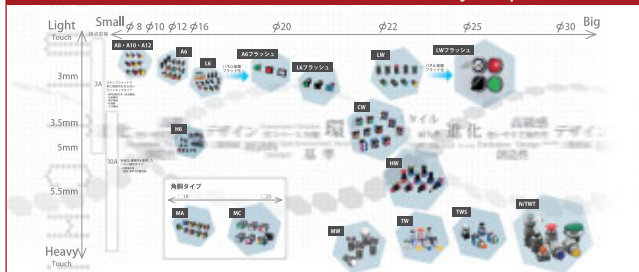
2009年11月25日から4日間、東京ビッグサイトにて、日本最大のFA機器の総合展示会であるシステムコントロールフェア（SCF）2009が開催されました。

IDECグループの展示ブースでは、新形非常停止用押ボタンスイッチであるX6シリーズを発表し、ブース正面に設置した当社独自のロボット制御セル生産システム※1で組立実演を実施しました。このX6シリーズは、セーフティポテンシャル構造※2を備え、優れた安全性と省スペースといった機能性を追求した設計となっています。また、当社独自のロボット制御セル生産システムにより、機能的にも価格的にも優位性をもった戦略製品として、現在非常停止用押ボタンスイッチで国内シェア45.3%※3を誇る当社グループの、さらなる躍進を担う製品となります。

さらにSCF2009では、注力事業であるスイッチ、LED照明、安全関連製品を中心に展示しました。ご来場いただいたお客さまからは、IDECグループの製品がしっかりとした生産技術に根ざしており、製品品質の高さを感じるといったお声を頂戴しました。



### 展示パネル一部ご紹介 Switch Variety Map



※1：ロボット制御セル生産システムは、セル生産の柔軟性を維持しながら、自動化によって省人化を可能にした高生産性、安全性、省エネルギー環境性を実現するシステムです。当社が開発し、2000年以降当社滝野事業所で稼働、現在さらなる知能化に向けて研究開発に取り組んでいます。

※2：セーフティポテンシャル構造とは、スイッチが押されたロック状態の方が、内部エネルギーが低くなっており、過度な力や衝撃によってスイッチが破損した場合でも、必ず安全側に移行し、機械やラインが停止する構造をいいます。

※3：2009年上期（4月～9月まで）のNECA（社）日本電気制御機器工業会）統計より自社算出しています。